

City Life NEWS

全国で注目される施策や課題は、地域で暮らす私たちにどう影響するのか?身近に起きた出来事やトレンドなど、幅広い分野のニュースを紹介していきます。ネットでもさまざまなニュースを紹介しています。



シティライフNEWS で検索

神戸の谷上を「挑戦と変化」のまちにベンチャー等が集まる

5月21日、神戸市北区谷上東町にコラボレーションスペース「.me(ドットミー)」がオープンした。仕掛け人は、ITベンチャー企業ChatWork株式会社(吹田市)。人とアイデアが集まり、挑戦と変化を生み出すコミュニティ形成プロジェクト、「谷上プロジェクト」が動き出した。



人・モノ・アイデアが集まる場所を目指す「.me」は駅直結。駅構内にカフェ「ドットミーキッチン」をオープン予定で、交流拠点としての機能を充実させていく。

ChatWork株式会社

2000年創業。日本最大級のビジネスチャット「チャットワーク」を主力事業として展開。民間企業、教育機関、官公庁など178,000社以上に導入され(2018年5月末時点)、シリコンバレーや台湾など海外にも展開している。

出る杭を伸ばす 挑戦と変化をもたらす拠点に

新 神戸駅からひと駅、北神急行電鉄・神戸電鉄「谷上駅」に「.me」は直結している。電源のあるカフェとしての機能のほか、会議室やプロジェクター、モニターを備え、プレゼンや交流会ができる環境が整う。「谷上プロジェクト」の活動第一弾。ベンチャー企業が本社登記することも可能だ。

きっかけは、ChatWork株式会社社社長の本山敏行さんが、現地法人設立のため5年間シリコンバレーに住んでいたこと。

そこには最先端を走る企業が集まり、いたるところでイベントやプレゼンテーションが行われ、民間主導で「挑戦と変化」が生まれていた。「日本では出る杭は打たれ、失敗できない。これでは革新的なものが生まれにくい。失敗を恐れず挑戦できるような街を日本に作りたい」。そう考えていた矢先、起業を目指していたメガバンク出身の森脇さんと出会い、意気投合する。山本さんは「日本各地から起業や新事業に熱量の高い人がたくさん集まって化学反応を起こし、新しいことに挑戦できるような拠点を作ろう」と森脇さんとともに行動を起こす。

そこで目をつけたのが、神戸市の谷上だ。海と山に囲まれた自然豊かな地だが、新神戸駅の隣駅で国内外からのアクセスも良い。森脇さんは「変化の余地があると感じた、新しい挑戦をするにはうってつけの場所だった」。

神戸市も期待 独自の資金調達制度で支援

谷 上プロジェクトは、起業家の育成を目指す神戸市の思惑とも重なった。そこで資金集めには、神戸市が独自に取り組む、ふるさと納税を掛け合わせたクラウドファンディングを活用。キックオフイベントには県知事と神戸市長も出席した。結果、約2カ月で当初の目標金額の1,500万円を大きく上回る約2,670万円が集まった。これは、兵庫県での活動に対する支援では史上最高額だ。神戸市新産業創造担当課長の多名部重則さんは「山本さ

□クラウドファンディング

インターネット経由で不特定多数の人から事業などの資金提供・協力を募ること。群衆(crowd)と資金調達(funding)を組み合わせた造語。ふるさと納税型クラウドファンディングの場合、寄付金は一旦自治体へのふるさと納税として扱われるが、最終的に手数料を差し引いた全額がプロジェクトにわたる。神戸市の取り組みは、「IT活用で地域・社会課題の解決を目指す、新事業を創出する取り組み」などを対象に、資金調達を支援する制度。

んからこのプロジェクトの話聞いた瞬間に、支援者は多く集まると思った。町の元気を維持していくためには、新しい挑戦が必要」と大きな期待を寄せる。

今後は、「.me」に集まった人がディスカッションをして、新しいアイデアを得て地方へ散り、各地でプロジェクトを始動する。また、交流会などのイベントを通じて多種多様なコミュニティを作っていく。

「土業の方や起業家育成に理解のある企業の社長も、サポートに名乗りを上げてくれています。谷上をハブとして、地方から日本に挑戦と変化を巻き起こしたい」と森脇さんは意気込む。



谷上プロジェクト実行員会の主メンバー、森脇さん。故郷の山口県下関市の活性化を目指す。すでに谷上に集まったメンバーを巻き込んで下関での活動を始めており、下関市長とのつながりもできたという。

世界最大級のショッピング・イベント 「VOGUE FASHION'S NIGHT OUT 2018」 神戸でも開催

2009年、アメリカ版『VOGUE』編集長アナ・ウィンターの呼びかけで始まった「VOGUE FASHION'S NIGHT OUT」(以下FNO)。日本でも同年に東京でスタートし、毎年大きな盛り上がりを見せている。記念すべき第10回目を迎える今年、東京・大阪・神戸・名古屋にて過去最大の国内4都市開催が決定。2回目となる神戸では9月22日に開催される。



神戸でのFNO2017の様子。旧居留地で行われたレッドカーペットには、有名ファッションモデルや俳優などが登場した。

コンセプトは 街の活性化と社会貢献

フ ャッション業界の活性化を目的として開催されるFNO。2017年に神戸が初めて加わり、大丸神戸店と旧居留地エリアの一部で開催された。大丸が創業300周年を迎えた年だった。「世界最大級のショッピング・イベントであるFNOは、弊社の大きな節目を飾る周年記念事業として最適であり、イベントを通じてファッションの街・神戸を活性化させたいという想いがありました」と株式会社大丸松坂屋

百貨店 大丸神戸店 販売促進担当の土居幸子さん。さらに、「FNOのもうひとつの目的である“ファッションによる社会貢献”が我々の企業理念と共通したため」と、参画の理由を話す。会場では華やかなセレモニーやショッピングを楽しめる多彩なコンテンツはもちろん、チャリティ企画も実施。来店者数は前年同日約4割増、SNSでも多くの投稿があり、大好評を博した。旧居留地には普段では見られない幅広い年齢層の人々が訪れ、街の活性化につながる大きな成果を残した。

官民協力で 街に一層の華やぎを

神 戸にとって第2回目の開催となる今年のFNOには、神戸市と公益法人神戸ファッション協会が特別協力。イベント開催や広報活動などにおいて協力する。行政の参画が実現することで、神戸の街全体を動かす一大イベントへの進化が期待される。「開催日である9月22日は、2006年より実施している神戸ファッションウィークの期間中。神戸の街に滞在し、神戸のファッション文化を楽しんでもらうための取り組みの一

貫として、本イベントは強力なコンテンツになるはず」と市のファッション産業課の担当者は話す。また、かねてより神戸市は、夜間経済の弱さに課題を抱えており、FNOは14時~20時頃までの開催であることから、「ナイトタイムエコノミー」振興にも効果が期待される。

官民協力体制によって実施される神戸のFNO。会場も大丸神戸店を中心に旧居留地エリア全体へと規模を拡大し、周辺の店舗も巻き込みながら、より一層華やかで楽しいイベントになる予定だ。詳しい内容は、大丸神戸店や神戸市のホームページ、SNSなどで随時告知される。